新医療センター整備計画凍結ならば代替案を！
基本方針がないまま基本設計業務の契約解除は認められない！

民報 おうしゅう 読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24−2021
Fax 24−2049

9月28日、奥州市議会第3回定例会（9月議会）が閉会しました。最終日の28日は、令和7年度決算認定をはじめ、令和8年度補正予算、日本共産党市議団が提出した「国が主食用米の価格と需給に責任をもち、政府備蓄米の国民への安定供給を支えるに十分な水準への早期回復と米価暴落回避を求める意見書」の審議などが行われました。今号ではその一部についてお知らせします。

定例会最終日には、令和8年度補正予算（第9号）が上程されました。

8月に起きた豪雨災害の被害に対応する復旧費用や学校の防火設備等の整備などが計上されました。中でも一番の争点となったのが、「総合水沢病院耐震補強等基礎調査業務委託料」と「新医療センター基本設計業務の契約解除のための弁護士委託料」です。



平成24年に耐震補強調査済み
老朽化対策も併せて必要

佐藤美雪議員は、平成24年にすでに耐震補強調査がなされ、老朽化への対策も必要とのことで「建て替え」の方針が打ち出された経緯があることや法定耐用年数を超える施設に耐震補強だけを施すための再調査方針には「全く理解できない」と質しました。



「まずは安全対策を講じなければならない」という市長の考えがあるため調査を行う

健康こども部長は、「平成24年時点から耐震性の不安を把握し、様々な議論の中で新しい施設を建てた方がいいという結論もあった。しかし、郷右近市長の考えの中で新医療センターを見直し、加えて水沢病院は喫緊に安全対策が必要とのことから耐震補強の手法を調査するもの。ご理解いただきたい」と述べるにとどまりました。

新医療センター「凍結」ではなく「白紙撤回」では？

千田美津子議員は、「新医療センター基本設計業務の契約解除に伴う弁護士委託料」の提案に対して、『計画の凍結』であれば、その方向性が提示される、または代替案が決まるまで設計業務の契約は解除する必要がないのではないか」と述べ、「契約解除を進めるということは新医療センター計画の『凍結』ではなく、『白紙撤回』ではないか。そのような説明は市民にも議会にもされていない」と質しました。



水沢公園陸上競技場に新医療センターは建てないことは選挙や議会等で何度もお話ししてきた　…　市長

市長は、「現在も『凍結』であるという認識。これまで選挙公約や議会の中で何度も『水沢公園陸上競技場に新医療センターは建てない』とお話ししてきた。選挙で市民に選んでいただいたということは民意であるとも思う」と述べました。

総合水沢病院の将来像も地域医療の方向性も見えない
修正動議を提出！

補正予算には豪雨被害復旧費用等が含まれているため、「総合水沢病院の耐震補強等基礎調査委託料」と「新医療センター基本設計業務の契約解除に伴う弁護士委託料」を除いた修正案を日本共産党議員団と加藤清議員の5名が共同で提出。

今野裕文議員が次のように提案理由を述べました。

総合水沢病院は、市長も認めているように施設自体が限界を迎えている。基礎調査等を行う余裕があるのか疑問。また、基本設計業務の契約解除の方針については、陸上競技場にその規模感では建設をしない、ということであって、地域医療の方向性が明らかになっていない。そのような状況下で到底認めることはできない。

門脇芳裕議員（奥和会）は賛成討論に立ち、「やはり、現時点で耐震補強ではなく、早期建て替え案にすべきと考える。地域医療を支える体制として新医療センターを水沢公園陸上競技場に建てることが最善との思いは変わっていないことから、修正案に賛成する」と述べました。

採決の結果、賛成10，反対17で否決されました。

賛否の詳細は左表のとおりです。

氏名	会派	①※	②※
菅原由和	議長	—	—
及川泰輔	奥ノ	×	×
岩渕英浩	玲	×	×
小野寺勝	新	×	×
岩渕高紀	新	×	×
佐藤克也	玲	×	×
佐藤永匡	新	×	×
菊地　淳	奥	×	×
千葉典弘	奥	×	×
三浦秀夫	新	×	×
佐藤美雪	共	○	○
宍戸直美	奥ノ	×	×
菅野　至	玲	×	○
門脇芳裕	奥	○	○
髙橋善行	奥	○	○
佐々木友美子	奥	○	×
小野　優	新	×	×
及川春樹	新	×	×
高橋　晋	新	×	×
高橋　浩	奥	×	×
千葉　敦	共	○	○
及川　佐	玲	×	○
飯坂一也	公	○	×
加藤　清	奥	○	○
千田美津子	共	○	○
中西秀俊	奥	×	○
今野裕文	共	○	○
阿部加代子	副議長	○	×

※注
①は、総合水沢病院の耐震補強等基礎調査委託料と新医療センター基本設計業務契約解除に伴う弁護士委託料を削除する一般会計補正予算の修正案
②は、発議案第6号「国が主食用米の価格と需給に責任を持ち、政府備蓄米の国民への安定供給に十分な水準の早期回復と米価暴落回避を求める意見書」

※奥和会＝奥、新奥会＝新
玲奥会＝玲、公明党＝公
奥州ノート＝奥ノ
※議長は採決に加わりません。